

空き家が生まれ変わる ～民泊施設としての新たな活用～



全国的な課題となっている空き家の増加は、上ノ国町においても例外ではありません。管理が行き届かなくなった建物は、景観や安全面への影響だけではなく、地域の活力低下にもつながります。

写真に写るのは、改修前の、かつて空き家だった建物です。

空
き
家

住んでいない家、片づけられずにいませんか。

町では空き家を放置せずに活用することはできないか検討する新しい取り組みを始めました。この取り組みは、株式会社JTB、Airbnb Japan株式会社と協力し、全国初となる「地域未来にぎわい工房」として、持続的なにぎわい創りを目指しています。

近年、風力発電の調査や工事のため、町外から多くの人が訪れており、泊まる場所が足りないという意見が増えてきました。

そこで町は、「空き家をすぐに壊すのではなく、活かす方法はないか」と考えました。

この取り組みで大切にしているのは、空き家を持っている方の気持ちや事情をしっかりと聞くことです。

- ・なぜ空き家になっているのか
- ・困っていることは何か
- ・活用できそうかどうか

こうしたことを一つずつ確認しながら、所有者の意向に寄り添い、活用したい場合は泊まれる家（民泊）として相談しながら、無理のない形で空き家の活用を進めていきたいと考えています。

空き家については、民泊活用だけでなく、ご相談にも応じておりますので、まずはお気軽にご相談ください。また、定期的な民泊現地相談会も予定しております！

